

農学分野データサイエンス教育事業×地域畜産交流会企画 地域創生と農産物ブランディングを考える



【日時と場所】

日時：2025年5月20日(火) 14:00-15:30

場所：こぶし会館 2F B研修室

(茨城大学農学部阿見キャンパス内)

〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1

【参加費】

無料（申込不要）

【趣旨】

我が国では、「地域創生」が重要なテーマとなっており、地域経済の活性化が求められている。こうした背景のもと、ふるさと納税制度は2023年度に納税額が1兆円を超え、地域の特産品・農産物のブランド力が地方の経済に与える影響がますます大きくなっている。本勉強会では、お二人の講師をお招きし、「土佐あかうし」ブランドを保存する取組みや、地域ブランドのための「地理的表示制度（GI）」などについて話題を提供していただき、地域農産物ブランドを考える機会としたい。



【プログラム】

14:00-14:10: 開会挨拶

小松崎 将一 先生（茨城大学農学部 研究推進委員長）

14:10-14:40

講演①「土佐あかうしと希少家畜の保全」

講師：松川 和嗣 先生（高知大学 農林海洋科学部）

内容：土佐あかうしという在来和牛種を守り、ブランドとして育てる取り組みから、持続可能な畜産とブランディングの関係性について紹介する。

14:40-15:10

講演②「『和牛』等の農林水産物・飲食料品のブランディングと 地理的表示（GI）」

講師：荒木 雅也 先生（茨城大学 人文社会科学部）

内容：農林水産物・飲食料品に関する地理的表示制度（GI）を中心に、法制度とブランド価値の形成について紹介する。

1. 15:10-15:30 総合討論

コーディネーター：豊田 淳 先生（茨城大学 農学部）

壇者と参加者によるディスカッション

問い合わせ先：岡山 毅 tsuyoshi.okayama.3@vc.ibaraki.ac.jp